

## DXによる教育の質的転換支援の取組及び達成状況

### ① 取組の内容

学修成果可視化システム（Assessmentor）により、全ての開講科目ごとに授業目標の達成度に係る学生の自己評価入力を実施しています。入力されたデータは当該学生にも可視化されるとともに、教学 IR 委員会において全体の傾向分析のうえ、教員に対して可視化しています。

上記のデータに基づき、アドバイザー教員は各学生に対して Assessmentor を通じてコメント及びアドバイスを送信することにより学修改善を図るとともに（2023 年度は試験的に 2 年次学生に対してのみ実施する予定であり、当該年度末までの取組完了を予定）、全体の傾向分析の結果は大学協議会に報告され、教育課程の適切性の検証に用いられることとなっています。

### ② 取組の達成状況（学生の習熟度データ）

2023 年度春学期全開講科目の授業科目別「学生自己評価」の状況(1～5 の 5 段階評価)

#### 【科目種別】

科目種	履修者数	回答者数	回答率	平均値
A 教養教育科目	1,760	871	49.5%	3.96
B 専門教育科目	1,693	600	35.4%	4.09
C 英語教育科目	892	456	51.1%	3.83
D 独語教育科目	81	55	67.9%	3.62
E 仏語教育科目	254	123	48.4%	4.24
F 中語教育科目	214	131	61.2%	3.84
G 韓語教育科目	453	282	62.3%	4.09
H 日語教育科目	199	60	30.2%	4.47
J 教職科目	90	61	67.8%	3.98
全科目	5,636	2639	46.8%	3.99

#### 【学年次別】

※2023.5.1 時点

学年次	延べ履修科目数	在籍学生数(※)	1 名当履修科目数	平均値
1 年次	1,577	120	13.1	3.94
2 年次	1,607	142	11.3	3.91
3 年次	1,144	157	7.3	4.08
4 年次	1,308	240	5.5	4.19
全学年	5,636	659	8.6	3.99

【C 英語教育科目抜粋】

学科	学年次	延べ履修科目数	在籍学生数(※)	1名当履修科目数	平均値
現代英語	1	228	64	3.56	<b>3.92</b>
	2	226	73	3.10	<b>3.93</b>
	3	89	68	1.31	<b>4.07</b>
	4	110	116	0.95	<b>3.95</b>
	学科計	653	321	2.03	<b>3.94</b>
国際コミュ	1	163	56	2.91	<b>3.54</b>
	2	32	69	0.46	<b>3.80</b>
	3	25	89	0.28	<b>3.67</b>
	4	19	124	0.15	<b>4.50</b>
	学科計	239	338	0.71	<b>3.61</b>
学部計		892	659	1.35	<b>3.83</b>

上記分析結果について、大学協議会では以下2点を課題と捉えて今後の教育課程の編成の参考にすることとしました。

- ア 学年次別集計において2年次の学生自己評価が低調である点は、(別のアセスメントにおいても2年次段階における学修成果・自己評価の停滞が見られることから)所謂「中だるみ」の傾向が看取される。
- イ 英語教育科目の国際コミュニケーション学科学生の自己評価・履修率が低調である点は、「2言語習得」を標榜するカリキュラム特性上、当該数値の向上が求められる。

(2023年10月10日開催 第12回大学協議会)

以上